

八多小学校だより

令和元年度
11月号
神戸市立八多小学校



つたえよう とどけよう!



～すてきなメロディー きれいな歌声 主役はみんな～

朝夕めっきり冷え込んでいます。八多川沿いの桜の木も色を変え、さらに落ち葉となって、私たちに秋の深まりを感じさせてくれるようになりました。

先月8日に行いましたオープンスクールには、たくさんの保護者の皆様に来校いただきありがとうございました。授業だけではなく、休み時間や給食、清掃、スポーツ等のすべての活動の様子を、緊張している姿ではなく、できるだけ普段の様々ながんばりや協力している子供たちの姿を見ていただきたいと思います。ゲストを招いての体験学習や出前授業なども取り入れ、子供たちが生き生きと活動している様子をご覧いただいたことと思います。学校の様々な状況を目にさせていただくことで、安心していただいたり、さらなる課題を出していただいたりする機会になればありがたいと思います。

いよいよ音楽会まで1週間となり仕上げの時期に入りました。今年の音楽会のテーマは、「つたえよう とどけよう」です。どの学年も練習に余念がありません。選曲については、どの学年も発達段階をよく考え、練りに練ったものとなっています。特に、歌については何らかのメッセージをもったものであり、それをどう伝えるか、どの学年も苦労しながら頑張っているところです。

子供たちも先生も燃えています。私たちは、運動会やその他の行事もそうですが、音楽会を教室での教科学習では育てきれない力を育む場だと考えています。初めはたどたどしかった合唱や合奏も熱心な練習の積み重ねで、次第に美しいハーモニーに姿を変えつつあります。子供たちは、仲間と共に歌い、合奏することがどんなに素晴らしいことか、体全体を通して実感していきます。創り出す喜びと共に互いが交流することで、集団として高まり、心を合わせることの価値観を、それぞれの学年の子供が全身で感じ取っていきます。

音楽会ではどの学年もすてきなメロディー、きれいな歌声で皆様を出迎えてくれることでしょう。上手に歌ったり、演奏したりするだけでなく、聞いていただく皆様に日ごろお世話になっている感謝

の気持ちを伝えることも大切にしながら、「最高のものを心合わせて届けよう」と、練習に励んでいます。会場の皆様の温かいまなざしや心から聴こうとする姿勢を直感し、子供たちは一層輝きを増します。そして、皆様の拍手の響きで子供たちは満足し、自信を持ち、明日への力としていきます。「今まで一生懸命練習してきたよかったです。これからも・・・」「おこられたこともあったけど、みんなとできた。」と次のチャレンジへのやる気を生むことにつながります。

音楽の美しさ、楽しさを味わい、心やすらぐひと時を、子供たちと共に過ごしていただき、一緒に音楽会を盛り上げていただければと思います。

校長 小原 耕司

読み聞かせを大切に

学校司書として本校に赴任し、半年がたちました。20分休みや放課後に図書館が開館していることに子供たちも慣れ、「こんにちは」ときちんとあいさつをして来館し、思い思いに読書を楽しむ姿が見られます。

さて、本を読むとどんな良いことがあるのでしょうか？知識が増える、語彙力が豊富になる、想像力がつく、リフレッシュできる、知らない世界に出会える、いろんな考えに触れることができる…1冊の本に出会い人生が変わることだってあるかもしれません。図書の時間に読み聞かせをすると、八多小の子供たちからはとても素直な反応が返ってきます。わくわくどきどきするお話の時は身を乗り出して目を輝かせ、怖いお話の時は体を強張らせ隣の子と身を寄せ合い、つまらないお話だとガサガサそわそわし始め、驚いた時には「えー!」「すごい!」「わ〜!」と声を上げ、ハッピーエンドで終わるときにはほっと安堵のため息をつき、聞き終わったあとに、口々に感想を言い合う姿を見ているときが司書としては幸せな瞬間です。

ある絵本セミナーで「お話を存分に楽しむには、10歳までは読み聞かせをしてあげるのが良い。」と言われたことがあります。確かに、子供たちを見ていると、文字を目で追ってはいるけれど、そのことに精一杯でお話の世界に入りきれない子や、挿絵をパラパラ見ているだけの子もいます。ですから、図書の時間にはできるだけ読み聞かせをして、お話の世界にどっぷり浸ってもらいたい、お話の楽しさを感じてほしい、いろんな本に出会えるようにしていきたいと思っています。同じ本を読んでも、小学生時代に読んだ時と大人になってから読んだ時とでは感じ方も捉え方も違います。小学生の今ならではの本の楽しさを存分に味わえるといいな、と思っています。

学校司書 北川あゆみ

指定学校の変更について

神戸市では、住所により決められた校区の小学校・中学校（指定学校）に通学していただいています。

しかし、相当な理由がある場合は、指定学校の変更ができる場合があります。（例えば、「年末に隣の校区に転居するが、3月に卒業予定なので、思い出のある今の学校で卒業したい。」など。）

指定学校の変更を希望される場合は、学校へご相談ください。なお、指定学校に関する詳しい基準や手続きについては、神戸市ホームページに掲載しています。

【神戸市ホームページ】

<http://www.city.kobe.lg.jp/child/school/area/kouku/>